

令和4年度祇園中学校経営方針

佐世保市立祇園中学校長 郷原 正浩

1 はじめに

令和4年度が始まりました。本年度は教職員29名及び市会計年度任用職員等7名の計36名、生徒1年生138名、2年生142名、3年生124名の計404名でスタートします。創立12年目（新校舎10年目）を迎え、学校・家庭・地域がさらに連携を深め祇園ブランドの構築に向けて邁進するよう努めていきます。

特に、生徒にとっては初めての「3学期制」となり、私たち教職員にとっては「新たな人事評価制度」が導入される年となる転換期でもあります。先を見渡せば、様々な課題が山積している状況ではありますが、生徒のために情熱を捧げる集団となりますよう、また、学校経営方針のもと全職員が同じ方向を見て歩んで行くよう（視点は立場によって異なります）努めて参ります。

まずは、毎朝笑顔で挨拶を交わし、生徒を迎え入れことから推進します。



2 本校教育方針

○教育基本法第5条2 *なぜ学力向上が必要なのか。

「義務教育として行われる普通教育は、各個人の有する能力を伸ばしつつ社会において自立的に生きる基礎を培い、また、国家及び社会の形成者として必要とされる基本的な資質を養うことを目的として行われるものとする。」

○教育基本法第9条 *なぜ研修が必要なのか。

「法律に定める学校の教員は、自己の崇高な使命を深く自覚し、絶えず研究と修養に励み、その職責の遂行に努めなければならない。」

○教育基本法第13条 *なぜ家庭や地域との連携が必要なのか。

「学校、家庭及び地域住民その他の関係者は、教育におけるそれぞれの役割と責任を自覚するとともに、相互の連携及び協力に努めるものとする。」

上記を本校教育の礎とし、教育基本法や長崎県・佐世保市の教育方針並びに教育振興基本計画に基づき、本校生徒の実態を把握し、家庭及び地域と連携しながら、社会の変化に主体的に対応するための「生きる力」を育み、新しい時代に貢献できる心豊でたくましい生徒を育成する。

(1) 校訓

- ① 理性（りせい）
- ② 創造（そうぞう）
- ③ 尚志（しょうし）
- ④ 自彊（じきょう）

学校教育目標

- 確かな判断力で当たり前のことができる生徒の育成
 向学の意気高く創造力豊かな生徒の育成
 尚い志をもち和してやり遂げる生徒の育成
 心身たくましく努力を重ねる生徒の育成

(2) 目指す生徒像

GION PRIDE から **GION BRAND** へ

- | | | | |
|--------------------|------|---------------------|------|
| G 義務を果たす生徒 | ⇒ 理性 | I 意気盛んな生徒 | ⇒ 創造 |
| O 思いやりのある生徒 | ⇒ 尚志 | N 忍耐強くやりぬく生徒 | ⇒ 自彊 |

(3) 目指す教師像

- | | |
|----------------|-----------------|
| ① 子供のよさを引き出す教師 | ② わかる喜びをつくり出す教師 |
| ③ 和を重んじる教師 | ④ 良き市民である教師 |
| ⑤ 尊敬される教師 | |

(4) 目指す学校像

- | | |
|------------------|----------------|
| ① 一人一人の心を大切にする学校 | ② 楽しく学べる学校 |
| ③ 環境を大事にする学校 | ④ 地域教育の拠点となる学校 |

3 学校経営の重点目標（学校が推進する具体的な実践事項）

(1) 心の教育の充実を図る。

- ① 「特別な教科 道徳」を確実に実施し、道徳教育の充実を図る。
- ② 平和・人権教育に取り組み、生徒一人一人の人格を認める教育を推進する。

(2) 「確かな学力」の定着を図る。

- ① 学習規律を定着させるために、「**学習五原則**」を推進する。
- ② 県教委「**新 学力向上のための3つの提案**」及び市教委「**学力向上のための土台となる5つの考え方**」をベースに、学び合う場を設定する授業づくりを推進する。
- ③ 生徒の読書活動を励行させ、「**読解力**」を育む。

祇園中 学習五原則

- 1 始業1分前に着席し、予習・復習する。
- 2 忘れ物をしない。（忘れ物ゼロの徹底）
- 3 授業の終始のあいさつは大きな声でする。
- 4 授業中は私語をせず集中して話を聴く。
- 5 指名されたら、はっきり返事をし、しっかり反応する。

(3) 特別支援教育の充実を図る。

- ① すべての支援や配慮を要する生徒に対して、**合理的配慮**や**ユニバーサルデザイン**等の共通理解を図り、共通実践を推進する。
- ② 交流学級で学ぶ特別支援学級の生徒の特性を理解し、**配慮を要した指導**をする。
※通常学級の生徒と同じ対応ですませない。

(4) 生徒指導の充実を図る。

- ① 生徒の範となる言動を心がけ、挨拶運動など積極的な生徒指導に努める。
- ② **カウンセリングマインド**を基本とし、認め、褒め、良さをのばす教育を推進する。
- ③ 危機管理意識に支えられた生徒観察力を育み、生徒指導情報交換を適切に実施する。
- ④ 学年・学級の枠を越え、教職員全員で一致団結し指導する体制を築く。
- ⑤ 相談室や保健室別室に登校する生徒については、**そうせざるを得ない要因を理解し家庭と連携をとるとともに、登校した際には担任（担任がいないときは学年の職員）が最低一回は顔を見て声おかけをするよう心掛ける。**

(5) キャリア教育の充実を図る。

- ① **キャリア・パスポート**を効果的に活用し、生徒一人一人に自己の適性を理解させるとともに、将来を見据え最適な進路選択ができるような支援体制を築く。
- ② 職業体験や高校説明会を大いに活用し、夢や目標に向けて努力する姿勢や公民としての心構えを養う。
- ③ **進路業務**においては、学年でしっかりと共通理解をもち、各人が責任もって遂行する。

(6) 健康・安全教育の充実を図る。

- ① 生徒のいのちや心を守るために「**当たり前25箇条**」等を活用し、健康・安全教育を推進する（安全点検・避難訓練・交通安全教育等）。
- ② 豊かな心や規範意識を育むために**思春期教育**を充実する（いのちの教育・性教育講演会・薬物乱用防止教室・情報モラル学習会等）。

(7) 特色ある教育を推進する。

- ① 生徒・地域の実態を把握し、地域の人材を活用するなど本校ならではの教育活動を推進する（伝統文化体験学習、公民館祭りへの参加等）。

(8) 校内研修の充実を図る。

- ① 授業で勝負する教師であるためにも、**研究授業**を推進する。
- ② 服務規律の遵守や不祥事の撲滅を目指し、過去の事例を省みながら研鑽に励む。

(9) 教育環境の整備と充実を図る。

- ① 整理整頓、常に新しい掲示物（学年の工夫）の張り替え、破損箇所の即補修、清掃活動等を徹底する。

(10) 開かれた学校づくりを推進する。

- ① 学校だより、学年・学級だより、保健だより、生徒会だより、ホームページ等で積極的に情報を発信する。
- ② PTA活動や地域の活動に積極的に協力し参加する。

(11) 服務規律を徹底する。

- ① 体罰・飲酒（酒気帯び）運転の根絶、情報セキュリティ対策を徹底する。
- ② 服務規律強化月間を遵守する。

以上の「学校経営方針」を遂行するために以下のことを推進します。

- (1) 『美しい祇園中学校』を目指す学校像とし、『祇園中学校』という名称が褒め言葉となるように努める。

『美しい祇園中学校』というフレーズを祇園ブランドとして確立させる。

※「美しい」とは、以下のようなことを包括するイメージを指す。

- ・気持ちの良い挨拶ができる。
- ・場に応じた言葉遣いができる
- ・常に身なりが整っている。
- ・相手のことも考えた言動がとれる。
- ・真面目に授業に取り組む。
- ・学校行事や部活動に一生懸命に励む。
- ・校内の清掃が行き届ききれいである。

- (2) そのために、校長（学校経営者）として努めること。

- ① 学校経営の根幹を「正直に真面目に取り組むものが報われる学校にする（正直者が馬鹿をみるような学校にしない）」とした学校づくりを推進する。
- ② 校長として心がけること
 - ア 教職員（教師・職員）のいのち（生活）や人権を守る。
 - イ 教職員（教師・職員）が平等・公平に働ける学校を目指す。
 - ウ 教職員（教師・職員）の声を聴き、良いものは取り入れる。
 - エ （遵法の下）現状に見合った働き方改革を推進する。
 - オ 生徒が、安全・安心に過ごせる、いじめのない学校づくりを推進する。
 - カ 生徒のもてる力が発揮できる学校行事を企画・実施する。
 - キ 保護者や地域の方から信用・信頼される学校づくりに努める。

- (3) そのために、集団の一員として教職員（教師・職員）に望むこと。

- ① 一人一人の個性を尊重し、一人一人が本校にとって必要な先生であることを認め合う教職員集団になる（同僚性を高める）。
- ② 一人一人が、本校に勤めることを誇りに思い、本校を大切に思う集団になる。
- ③ 学年の壁を越えて協力し合い、互いの隙間を埋め合う教職員集団となる。
- ④ 学級経営や学年経営において、祇園ブランドの構築を念頭にいった計画を立て取り組む。
※組織として同じ目標をもつ（同方向へベクトルを向ける）。

どんなに元気で強く見える人であっても、一人一人は弱い存在です。先生方の周囲の誰かが悩みや不安を抱えて苦しんでいる人がいたら、手を差し伸べることのできる先生方であってください。それが言葉かけだけになるかもしれませんが、大きな助けとはならないかもしれませんが当人にとってはとてもありがたいものです。それが「和」を尊ぶ良好な集団であり、愛校心を育む学校になるのではと思います。

- (4) そのために、一人の大人として教職員に心がけてほしいこと。

- ① 率先垂範を心がける。
 - ⇒ 挨拶・礼儀・言葉遣い・環境美化等において生徒の模範となる姿勢を示す。
※自ら笑顔で挨拶を交わせる人となる。
※乱暴な言葉遣いや不条理なことは言わない（底辺、奴、連帯責任など）。
※掃除の時間は指導とともに生徒と活動をする。
- ② 専門性を磨く。
 - ⇒ 校内研修や自己研鑽をとおして教科指導力や文書処理能力を高める。
※授業の展開に幅をもたせる工夫としてICT活用を取り入れる。
- ③ 学校行事の在り方や内容を工夫する。
 - ⇒ 生徒の能力を生かす、生徒が主体的に活動できる、生徒に感動を味わわせるような学校行事を立案する。
- ④ 社会人としてのマナーを心がける。
 - ⇒ 時間を守る。常に身の回りの整理整頓（職場に物を借りているという意識を持つ）をする。外部（保護者・地域・業者等）とは丁寧な対応（言葉遣いや電話対応のマナーなど）をする。
※授業の終始時間を守る。
※長期休業前も含めて提出物の期限を守る。

- ⑤ 公務員としての自覚をもつ。
⇒ 服務規律やガイドラインを守り、不祥事（体罰・ハラスメント・人権侵害・飲酒運転・情報漏洩等）を起こすことを絶対にしない。

※体罰（暴力や心を傷つける言葉）は絶対にしない。

- ⑥ 学校は地域の教育拠点であるという意識をもつ。
⇒ 地域からの要望については、可能な限り協力をする。

(5) そのために、教職員として生徒に向き合い実践してほしいこと。

- ① 生徒の「心」を育成するに当たって
- ア すべての生徒と平等に接する。
- ・生徒の目（顔）を見て対応する。
 - ・生徒の話は丁寧に耳を傾け、**感情的にならず生徒を諭す姿勢**で接する。
 - ・気になる生徒や配慮を要する生徒には、引継ぎ資料等を参考にしながらも、まずは先入観を捨て対応する。
- イ 生徒の長所をできるだけ見出し、認め・励まし・ほめる。
- ・授業等での生徒の情報を交換し合う。できるだけ良い面の情報交換を中心とし生徒に還元する。
 - ・教師としても社会人としても、恥ずかしくない言葉遣いで対応する。
 - ・授業や学校行事において、段取りをしっかりと教え、生徒が主体的に考え取り組めるように仕向ける。
- ウ 命・人権教育に重きを置く。
- ・善悪には毅然とした態度で指導する。
 - ・いじめを絶対に許さない。
 - ・真面目にする人間が不信感を抱くことのない指導をする。
 - ・生徒は未完成な人間（これから学んで成長する人間）であることを意識し指導する。
 - ・自分がされたり言われたりしたら不快に思うことは、生徒にもしない。
- ② 生徒の「学力」の向上を図るに当たって
- ア 生徒の視点に立った授業の教材研究を行う。
- ・生徒にとって分かりやすい授業をしているか、難しい言葉（用語）ばかり使用していないか、見やすい（ノートしやすい）板書になっているかなどを考える。
- イ 教え込むだけや覚えさせるだけ、教科書を見るだけの授業から脱却する。
- ・教科のおもしろみ（興味・関心、好奇心をかきたてる）を伝える授業づくりを進める。
 - ・「**授業改善自己診断カルテ**」を活用し、授業を振り返り改善に努める。
- ウ 現在の教育で求められている学力を身に付けさせる。
- ・県教委や市教委の方策を参考にする。
 - ・全国・県・市の学力調査（学習指導要領で求められている学力）で出題傾向（出し方や考え方など）を理解し、定期テスト等に生かす。
- エ 社会に出たときに社会人として恥ずかしくない最低限の教養を身に付けさせる。
- ・例えば、小学校で学んだ漢字は読める、計算はできる。九州内の県名や所在地は知っているなど。
- ③ 文化・スポーツの面白みを味わわせる。
- ア 部活動の意義を教え、部活動をととして人間性の育成を図る。
- イ 文化やスポーツが、社会を発展させ生活を豊かにする一つであることを教え、学校生活の一部として取り組ませる。
- ④ 学校の環境を整える。
- ア （生徒が）気持ち良いあいさつができるように育む。
- イ （生徒が）正しい言葉遣い（TPOに応じた言葉遣い）ができるように育む。
- ウ （生徒が）自分の考えを自分の言葉できちんと伝えることができるように育む。
- エ （生徒が）学校の施設を自分の家と同様に扱い、整理整頓ができるように育む。
- オ （生徒が）ごみが落ちていれば自ら拾うことができるように育む。

「祇園中学校に通った生徒は、気持ちの良い挨拶ができ、何事にも真面目に取り組み、良識のある行動がとれる。」と思われる生徒の育成、学校づくりを目指す。